

◇◇◇〔情報等の交換に係る協力活動〕◇◇◇

○緊急被ばく医療処置訓練見学会

「緊急被ばく医療関連情報連絡会」が平成24年度活動の一環として開催する緊急被ばく医療処置訓練見学会について、茨城県保健福祉部から東海ノア協定事務局に開催案内があったことから、東海ノア協定に基づく「情報等の交換に係る協力活動」の一環として、加盟事業所の参加者を募り連絡会に同行する形で緊急被ばく医療処置訓練見学会を開催しました。

〔開催日時〕 平成25年3月12日（火） 13時30分～16時30分

〔見学場所〕 日本核燃料開発株式会社及び大洗海岸病院

〔見学会参加者〕

- ①原子力事業所による応急処置訓練（日本核燃料開発（株））
50名（東海ノアからは 21名／7事業所）
- ②医療機関による医療措置訓練（大洗海岸病院）
51名（東海ノアからは 23名／8事業所）

〔訓練見学会概要〕

緊急被ばく医療処置訓練は、緊急被ばく医療に関する契約書に基づき1回／年の頻度で実施する訓練で、今回は、日本核燃料開発株式会社の管理区域内において作業者が落下した重量物で下腿部（脛：すね）を切創し、その際、わずかな放射性物質が付着したとの災害想定に基づき、①原子力事業所による応急処置、②消防機関による搬送、③医療機関による医療措置の訓練が実施されました。

見学会参加者は、事前に会議室での概要説明を受けた後、原子力事業所内での除染を含む応急処置、救急車及び医療機関の汚染防護のための養生、医療スタッフの汚染防護衣を着用した医療処置などの訓練について、訓練場所を移動しながら一連の訓練を見学することができました。



NFDでの訓練の様子

訓練の様子



消防機関による搬送訓練の様子



医療機関での訓練の様子